

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	安全規制行政の効率的推進		<b>担当部局庁</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和59年度・平成22年度		<b>担当課室</b>	原子力安全課		原子力安全課長 明野吉成		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅷ-1. 原子力安全対策、核物質の防護及び転用の防止、並びに環境放射能の把握				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律等		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	原子炉等規制法に基づく安全規制等を、国際基準に則しつつ、適切に実施することで、原子力の研究開発利用活動による災害及び放射線障害を防止し、公共の安全を確保する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	文部科学省における原子力安全行政の透明かつ効果的、効率的な展開に資するため、専門家をはじめとする有識者からなる検討会を実施する。また、国際基準に則した原子力安全行政の実施のため、国際原子力機関(IAEA)などの国際機関における会合への参加や、現在抱えている諸課題について、原子力の研究開発利用活動を行う諸外国と情報交換、意見交換等を行う。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	8	8	8.8	-	-	
		繰越し等	0	0	0.0	-	-	
		計	8	8	8.8	-	-	
	執行額	7	7	6.6				
	執行率(%)	91.0%	89.2%	74.5%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、IAEA等の国際機関における会合への参加や意見交換を行うことにより、国際基準に則した原子力安全行政を効率的に推進することを目的としており、定量的な指標による評価にはなじまない			-	-	-	-	-
	達成度		%	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際会議への出席回数			13	12	10	- ( )	
<b>単位当たりコスト</b>	0.33百万円/回		算出根拠	国際会議参加1回あたりの費用 旅費3.3百万円÷10回=0.33百万円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘事項を踏まえ、平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は他の原子炉等規制法に基づく事業とともに「原子力の安全規制」へ整理統合した。</p> <p>なお、本事業の経費は、全て文部科学省が各種の会計規則等に則って直接執行管理を行い、その支出先・使途を十分に把握した上で効果的・効率的に執行している。また、国際機関における会合への参加や諸外国との情報交換会合の開催にあたっては、議題や相手国との状況等に基づき、真に必要なものを精査している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

文部科学省  
6.6百万円

国際基準に則した原子力安全行政の実施のため、国際原子力機関(IAEA)などの国際機関における会合への参加や、現在抱えている諸課題について、原子力の研究開発利用活動を行う諸外国と情報交換、意見交換等を行う。

外国旅費	3.3百万円
職員旅費	0.01百万円
委員等旅費	0.01百万円
庁費	3.3百万円
諸謝金	0.02百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	国際会議出席、諸外国との情報交換	3.3			
庁費	事務補助員賃金	3.3			
諸謝金	専門家検討会議	0.02			
委員等旅費	国際会議(国内開催)出席	0.01			
職員旅費	国際会議(国内開催)出席	0.01			
計		6.6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。